

長谷川朝子のアイデアノート



アクセサリーの工夫

お化粧などでカバーできる顔

とは違い、年齢が出やすいと言われる首。年を重ねるに連れ「大きく胸元のあいた服が着られない！」とお考えの方が多いのではないのでしょうか？ 気になる首を隠すのに一般的によく使われるのはタートルネックやスカーフですが、私がよくするのは、胸元のあいた洋服を着て、レースのリボンにブローチをとめ、首に結ぶチョーカーです。あるいは、ネックレスにお花のブローチをとめて、顔近くに置いたりもします。とてもふんわりとエレガントな装いができます。首回りを引き立たせるアクセサ



写真A



写真B

▲レーンのネックレス、だいぶ昔はやりませんでしたか？ これは姑が持っていたものです。ブラウスと共布の小さなコサージュを作りネックレスに安全ピンでとめました。(写真B)



写真C

▶アメジストのネックレスに手作りブローチを組み合わせました。

「ダウンタウン・アビー」が大好きです。深夜の放送なのでビデオに録っておきます。後でゆっくり見て、出演者のファッショ

リーで、おしゃれなコーディネートを楽しんではいかがでしょうか？(写真A)

ンを自分のおしゃれに取り入れます。

父が中国のお土産に私と母に買ってきたカーネリアンのネックレスがありました。ダサイ感じがしてしまったままでしたが、このように2つのネックレスを合わせ、石の間に玉結びを入れました。作り変えてからしょっちゅう使っています。(写真D)

参考にしたテレビの映像を並べて、見比べていたできたかったのですが、著作権のことがあり、お見せできませんでした。



写真D

【収納の仕方】

ネックレスは鎖がからまって



長谷川朝子さん

福島市在住。声楽家・ハーブ奏者。長谷川音楽事務所、長谷川音楽スクール代表。大学講師やラジオのパーソナリティ、福島民友新聞連載「うたのふるさとを訪ねて」を執筆。また、全国の学校を回る演奏活動、番組審議委員、コンクール審査員を務めるなど多方面で活躍中。2013年に第23回みんゆう県民大賞芸術文化賞を受賞。

HPアドレス <https://hasegawamusic.com/>



なかなかほどこけなくなります。小袋に鎖を入れ、トップは見えやすいように出しておきます。

◆ ◆ ◆
自分だけの楽しい時間、洋服をいっぱい出して、上下の組み合わせを考えたり、アクセサリーを加えて鏡の前でコーディネートしたりします。ストッキングの色や靴までそろえられたら完璧です。おしゃれは組み合わせが大切ですね。そうやって選んだ衣装は同じハンガーに掛けておくと、お出かけの時バタバタせずにすみますよ。
それともうひとつ。吉永小百合さんはお芝居で、振り向く時に腰からひねることを板東玉三郎さんに教わったそうです。そうすると首にしわが出ないそうです。私は日舞から肩を下げて首をぐっと伸ばすことを学びました。鏡の前でぜひお試しください。